

令和6年7月8日（月）

都立青山特別支援学校校長 中澤 将人
相談支援部主任 中村 尚子

文責 中村 尚子

つなぐ



副籍交流 出前授業の御紹介

副籍交流は、都立特別支援学校の児童・生徒が、居住地の小・中学校に副次的な籍を置き、交流を行う事業です。特別支援学校の子供たちと小・中学校の子供たちは、近くで暮らしていますが、知り合ったり、日頃から触れ合ったりすることはしにくい環境にあります。副籍交流を通して、**同じ地域に暮らす子供たち同士が、“ちがいを認め合い、親しみを感じられるよう、本校から講師が出張し、小・中学校の子供たち向けに出前授業を実施しています。**

小学校低学年では、対象児童がどんなことが好きか、どんなことをがんばっているか、特別支援学校はどんなところか等の内容が中心です。学年が上がるにつれて、徐々に発達の特徴や、“ちがい”があるということを考える内容に発展します。本号では、小学校での出前授業の一部を御紹介します。

1 『ふくせき』ってなあに？

青山とくべつしえん学校



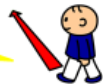
まい日 かよう学校は こちら

ときどき、みんなにあいにくよ！
それが「ふくせき」



〇〇小

〇〇小のちかくだよ



3

2 ともだちのことをしろう

△△さんの好きなことは・・・



顔写真が入ります。

5

3 とくべつしえん学校ってどんな学校？



どうしてとくべつしえん学校に行くのかな？

こんなともだちのための学校です。

- ・ゆっくり べんきょうしたい。
- ・くりかえし れんじゅうしたい。
- ・じぶんにあう べんきょうをしたい。
- ・すくない 人ずうで べんきょうしたい。



9

4 学校クイズ

だい！もん

〇〇小の2年生は、2 クラス

ぜんぶで 64 人ですね。

では、青山とくべつしえん学校の2年生は？？

4 クラス 15 人

顔写真が入ります。

わたしは、**2年△組**だよ！

12


4 学校クイズ

だい3もん

〇〇小のみなさんは、歩いて学校にかよいますね。

では、青山とくべつしえん学校のともだちは、どうやって学校にかようでしょう？

スクールバス



8だいあるよ！

顔写真が入ります。

わたしは、コースにのっているよ！

14

5 とくべつしえん学校での△△さん

はさみできって、
のりではって、
きのこをつかったよ。


活動の様子の写真が入ります。

20

6 △△さんとなかよくなるには・・・

かいだんは、
ちょっとにが手です。

いっしょにあるくときは、
ゆっくり
おねがい
します。




顔写真が入ります。

26

6 △△さんとなかよくなるには・・・

おはなしは、
れんしゅう中
です。



顔写真が入ります。

うまくこたえられない
ことがあるけれど、
おともだち
はなしかけられるのは、
大すきです！

顔写真が入ります。

24

みんなの中にも 同じところとちがうところがある



にぎやか



しずか

25


同じところとちがうところ

自分と同じで **うれしいところ**、

自分とちがうけれど **すてきなところ**、
おもしろいところを、

顔写真が入ります。

**たくさん
さがしてみよう！！**



学校・学年によりますが、授業の最後には、地域指定校の皆さんから本校の児童・生徒へのメッセージを書いてもらうこともあります。「〇〇さんと会うのが楽しみになったよ」「〇〇さんと好きな食べ物が同じだよ」「△△小と一緒に遊ぼうね」のように、温かいメッセージを書いてくれるお子さんが多く、**交流の第一歩**になっています。

出前授業は、保護者の希望または地域指定校の希望により実施します。実施すると、地域指定校の児童・生徒や先生方が本校の児童のことをより理解できるので、交流のイメージが深まることが期待されます。実施しない場合は“ちがいを強調することなく、もともとの地域での関係性を生かした触れ合いが期待できることもあります。**副籍交流も出前授業も、それぞれの立場が感じるニーズに合わせたカスタマイズが重要です。**気軽に相談し合い、必要な準備をしていきましょう。

